



2月の園だより

令和8年2月2日
目黒区立中央町保育園園長

寒波が続き1年で最も寒い季節となりましたが、風が穏やかな晴れ間には子どもたちは碑文谷公園や油面公園などへ散歩に行き、探索したり体を動かしたりして楽しんでいます。

先日、お店屋さんごっこの行事がありました。3、4、5歳児クラスは自分たちがお店屋さんになるということで、12月中旬から準備をしてきました。そしていよいよ当日を迎え、1日目は3、4、5歳児が交代でお店とお客さんになり、3、5歳児はペアになってお店をまわりました。どのお店からも「いらっしゃいませ〜」「安いよ安いよ」と威勢の良い声が聞こえてきます。代金の支払いは紙で作ったお金や、厚紙で作ったプリペイドカードを使い、子どもたちは「カードをお願いします」と慣れた口調でやり取りしています。3歳児と一緒にお店で買い物をした5歳児が「お金は僕が払っておくね」となんと頼もしい姿も見られました。この日は栄養士のパン屋が开店し、子どもたちはフィッシュバーガー引き換え券をもらいました。昼食時に引き換え券を調理師に渡してフィッシュバーガーをもらおうと、どの子も「おいしいね」と大きな口で頬張っていました。2日目は0、1、2歳児クラスや地域の親子がお客さんになりました。食べ物屋さんでは小さい子用にと小さいパックに毛糸で作った焼きそばを入れて用意したり、「お化け屋敷は小さい子には怖くないようにしましょう」と話していたりと、0、1、2歳児が喜んでくれるように子どもたちなりに考えてお店屋さんごっこを進めていました。その甲斐あって、お店を訪れた0、1、2歳児は嬉しそうに商品を選び、お化け屋敷や宝発掘などの体験ブースも楽しんでいました。子どもたちは翌日の遊びの中でも買い物ごっこをしながら、楽しかったお店屋さんごっこの余韻を味わい、2日間のお店屋さんごっこが充実した体験になったようです。

2月の懇談会

0歳クラス
1歳クラス
4歳クラス
2歳クラス
3歳クラス

2月の予定

節分
中旬 避難訓練・身体計測



乳児お楽しみ会の様子



モップ犬（モップで作った犬）が大人気です。

人形劇は
3匹のこぶたでした。

2歳クラスのどんぐり組は「さんぽ」の曲で太鼓を演奏しました。バチは自分達でシールを貼った手作りです。



お店屋さんごっこ

1月28日～29日の2日間にわたってお店屋さんごっこがありました。取り組みの様子を紹介します。



『りぼんフードコート』3歳児クラス（もみじ組）

もみじ組は、日ごろの制作でも作っているピザ作りから、お店屋さんの準備が始まりました。ピザのソースや具材を自分で決めて、オリジナルのピザを作ります。「お店で売るから、沢山必要だよ」と伝えと、より一層ピザ作りに気合が入っていました。ピザ作りが進んでいくと「ジュースもいるよね」「おやつも作りたい」と他の品物も作ることになりました。そして、店名は様々な食べものを楽しめる『りぼんフードコート』に決まりました。お店の名前が決まるとイメージもより具体的になり「イチゴ味のゼリーにするんだ」「チーズだけのピザにしたよ」と友達と一緒に楽しみながら初めてのお店屋さんごっこの準備に取り組んでいました。

『博物館グループ』4・5歳児クラス（いちょう組・ぽぷら組）

恐竜好きが集まり「どんな博物館にしたいか」アイデアを出し合いました。「恐竜を作ったら飾ろうよ」「大きい恐竜がいい」「隕石もね」とお客さんも自分たちもワクワクするアイデアが膨らみ、早速折り紙で作った色とりどりの恐竜や、切り貼りして作った立体的な恐竜が完成しました。「化石の発掘はどう」「光る石も入れようか」のアイデアから、新聞紙を丸めた砂を敷き詰めた「宝石の発掘」を行うことにしました。理想の広さにするには45リットルの袋いっぱいに入った砂が10袋が必要です。そこで、作った砂を袋めがけて玉入れのように投げ入れながら楽しく作りました。当日は恐竜に変身しておもてなしをし「自分たちも恐竜になりたい」の願いも叶い、楽しく取り組みました。



『遊園地グループ』4・5歳児クラス（いちょう組・ぽぷら組）

子どもたちが自分でやりたいと選んだ遊園地グループでは、お化け屋敷、ショー、フードコーナー、バインブレードコーナーに分かれて活動しました。フードコーナーでは「遊園地にはどんな食べ物があるかな」と話し合いが始まり、アイスやポテト、焼きそばなどの案が出ました。その中で「アイスのあたりが出たらハンバーガーが貰えると楽しいね」と子どもたちのワクワクする声があがり、その発想をもとに店名を『あたりやさん』に決めました。ぽぷら組がいちょう組の思いも聞いて、同じイメージを持ち、やり取りを楽しみながら準備を進めました。



『スーパーグループ』4・5歳児クラス（いちょう組・ぽぷら組）

自分たちで作った物を売りたいと「ピザがいい」「100均の物作りたい」「お花がいい」と子どもたちから作りたい物が次々と出てきます。そして「買ったならお店で食べたい」ということで色々な物が売っていて、食べる所のあるスーパーをイメージしてお店を作ることになりました。品物作りが始まり、うまく作れず困っている子に「この線を切るんだよ、こっちは切らないよ」と詳しく教えたり「こっちの方がイチゴっぽく見えるよ」とより美味しそうな作り方を伝えたりしています。4、5歳で一緒に作業をしていると「この棒とコースターで何作ろうか」「ぺろぺろキャンディーがいいんじゃない」とやりとりが増え、イメージも膨らみ品物の種類もどんどん増えていきました。

